

平成30年

## 泉州南消防組合議会第2回定例会会議録

平成30年8月13日 開会

平成30年8月13日 閉会

泉 州 南 消 防 組 合 議 会

# 平成30年 泉州南消防組合議会第2回定例会会議録

## 目 次

---

○第1日（平成30年8月13日）（月）	
○議事日程	1
○出欠議員	1
○説明員職員氏名	1
○職務のために出席した職員氏名	1
○本会議の会議事件	1
○会議録署名議員	2
○開会・開議	2
○会議録署名議員の指名	2
○会期の決定	2
○監査報告第2～7号上程	2
○専決報告第1号上程	2
専決処分の報告について	2
竹内消防長・提案説明	3
質疑	3
○議案第10号上程	3
平成30年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）	3
竹内消防長・提案説明	3
質疑	3
討論	4
採決	4
○認定第1号上程	4
平成29年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について	4
竹内消防長・提案説明	4
質疑	5
討論	11
採決	11
○閉会	11

泉州南消防組合議会第2回定例会第1日

(8月13日)

# 平成30年 泉州南消防組合議会第2回定例会（第1日）

平成30年8月13日（月）

## ○第1日の議事日程

日程第 1		会議録署名議員の指名について
日程第 2		会期の決定について
日程第 3	監査報告 第 2～7号	監査結果報告について
日程第 4	専決報告 第 1号	専決処分の報告について
日程第 5	議 案 第 10号	平成30年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）
日程第 6	認 定 第 1号	平成29年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

## ○議員定数15名

出席議員15名

道工晴久	小川日出夫	大庭聖一	土原こずえ
日根野谷和人	河部優	古谷公俊	澁谷昌子
上甲誠	畑中讓	中村秀人	坂上昌史
文野慎治	金田裕治	小林健治	

## ○説明員職員

管理者	水野謙二	副管理者	千代松大耕	副管理者	竹中勇人
副管理者	藤原敏司	副管理者	栗山美政	副管理者	田代堯
会計管理者	山本雅清	消防長	竹内寛二	理事	吉村昭彦
理事	春木淳一	総務部長	大西保	警防部長	山浦照夫
理事兼泉野署長兼市場署長	戎谷始	熊取署長	中西正	泉南署長	坂本晃
阪南署長	部原一夫	岬署長	名倉一之	総務課長	田中豊稔
管理課長	中川康	予防課長	芝野太一	警備課長	寒川徹
指揮司令課長	松浦治人	総務課参事	泉直宏	予防課参事	山田敏一

## ○職務のために出席した職員

消防次長	松藤忠直	課長代理	北谷守	主幹	尾上昌明
------	------	------	-----	----	------

## ○本会議の会議事件

- ◇監査結果報告について
- ◇専決処分の報告について
- ◇平成30年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）
- ◇平成29年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について

○地方自治法第123条第2項の規定による会議録署名議員

道工晴久

大庭聖一

---

会 議 の て ん ま つ

開会（午前10時00分）

事務局（松藤忠直君）皆様、おはようございます。

議会開催に先立ちまして、ご報告申し上げます。

ご発言時の注意事項としまして、お手数ですが、ご起立の上、お手元のマイクのスイッチを入れていただき、ご発言が終わりましたら、再度スイッチを押して切断していただき、ご着席いただきますようお願いいたします。

---

議長（上甲 誠君）皆さん、おはようございます。

ただいまより平成30年泉州南消防組合議会第2回定例会を開会いたします。

議員定数15名中、出席議員全員でありますので、会議が成立いたします。

---

議長（上甲 誠君）それでは、本日の会議を開きます。

これより議事に入ります。

本日の議事日程は、お手元の一覧表のとおりであります。

---

議長（上甲 誠君）まず、日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。

泉州南消防組合議会会議規則第68条の規定により、本会の会議録署名議員として、道工晴久君、大庭聖一君の兩名を指名いたします。

よろしく申し上げます。

---

議長（上甲 誠君）次に、日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期は本日1日といたしたいと思えます。

これに異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（上甲 誠君）異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は本日1日と決定いたしました。

---

議長（上甲 誠君）次に、日程第3、監査報告第2号から第7号までの監査結果報告についてを議題といたします。

ただいま、議題となっております議案につきましては、お手元に配付いたしましたとおり、監査委員から議長あてに報告がありましたので、ご報告いたします。

この報告につきまして、質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（上甲 誠君）ないようですので、以上で監査結果報告を終わります。

---

議長（上甲 誠君）次に、日程第4、専決報告第1号 専決処分の報告についてを議題と

いたします。

提案者の報告を求めます。

竹内消防長。

消防長（竹内寛二君）専決報告第1号 専決処分の報告について、ご説明いたします。

議案書1ページをお開き願います。

この報告は、地方自治法第180条第1項の規定により、損害賠償の額を定めること及び和解について専決処分をいたしましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

議案書3ページをお開き願います。

平成30年6月9日、泉南市樽井5丁目28番1号先で泉南署のポンプ車が発生させた交通事故で、記載の相手方と損害賠償額4万1,000円をもって和解したものでございます。

事故の概要につきましては、狹隘道路から右折した際、車両左後部が建物外壁に接触し、損傷させたものでございます。

損害賠償金額は損傷箇所の修理代で、全国市有物件災害共済会から全額が補填をされております。

安全運転につきましては、平素からその徹底に努めているところでございますが、再度、安全運転を徹底させ、事故防止に努めてまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

議長（上甲 誠君）ただいまの報告につきまして、質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（上甲 誠君）ないようですので、以上で専決処分の報告を終わります。

---

議長（上甲 誠君）次に、日程第5、議案第10号 平成30年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

議案の説明を求めます。

竹内消防長。

消防長（竹内寛二君）議案第10号 平成30年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）について、ご説明させていただきます。

議案書別冊の補正予算書1ページをお開き願います。

平成30年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによることといたしまして、第1条、地方自治法第214条の規定により債務を負担することができる事項、期間及び限度額は、第1表、債務負担行為によることとし、2ページをお開き願います。ネットワーク機器等借上料といたしまして、期間、平成30年度から平成37年度、限度額1億5,000万円を計上させていただいております。

これは、組合内の各署所を結び財務会計システムなどを使用しているネットワーク機器が、構築から6年が過ぎ、ソフトウェアの更新が困難であることなどにより各機器を更新するもので、今年度中に契約事務を行い、平成31年度からの運用を開始し、平成31年度から7年間のリース借上げとすることから、債務負担行為として計上させていただくものでございます。

説明は以上のとおりでございます。よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

議長（上甲 誠君）これより質疑に入ります。

質疑ございませんか。

坂上議員。

議員（坂上昌史君）期間についてお伺いしたいんですけども、7年というのはちょっと長いかなというのを率直に感じたんです。7年の理由をお聞かせください。

議長（上甲誠君）吉村理事。

理事（吉村昭彦君）通常、システム系というのは5年なんですけれども、実際に今運用している中でも、使えるものはスポット契約といういろいろな契約を使って、できる限り長く使おうというふうな考え方で、実際は、6年はまずいけるだろうと。ただ、7年、8年となるとちょっと難しいんですけども、一応いけるかどうかはその時点で判断してみようということで、そういう期間をとらせていただいております。

以上です。

議長（上甲誠君）ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（上甲誠君）ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（上甲誠君）ないようですので、これをもって討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

議案第10号 平成30年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）については、原案どおりとすることに賛成の方は挙手願います。

（挙手全員）

議長（上甲誠君）挙手全員であります。

よって、議案第10号 平成30年度泉州南消防組合一般会計補正予算（第1号）については、原案のとおり可決されました。

---

議長（上甲誠君）次に、日程第6、認定第1号 平成29年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

議案の説明を求めます。

竹内消防長。

消防長（竹内寛二君）認定第1号 平成29年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算について、ご説明申しあげます。

決算書の6ページをお開き願います。

平成29年度泉州南消防組合一般会計は、歳入合計43億1,189万1,932円、歳出合計43億1,052万5,932円、歳入歳出差引額は136万6,000円でございます。

続きまして、歳入歳出決算事項別明細書に基づき、詳細をご説明させていただきます。

8ページ、9ページをお開き願います。

歳入といたしまして、款 分担金及び負担金として、収入済額36億4,785万7,496円でございます。

次に、款 使用料及び手数料として、収入済額1,172万4,685円でございます。

次に、款 国庫支出金として、収入済額1,311万8,000円でございます。

次に、款 府支出金といたしまして、収入済額185万1,383円でございます。

次に、款 財産収入といたしまして、収入済額70万3,080円でございます。

次に、款 諸収入といたしまして、収入済額1,963万7,288円でございます。

10ページ、11ページをお開き願います。

次に、款 組合債といたしまして、収入済額6億1,700万円でございます。

以上で歳入に関する説明を終わらせていただきます。

引き続きまして、歳出に移らせていただきます。

12ページ、13ページをお開き願います。

款 議会費、項 議会費、目 議会費といたしまして、支出済額191万3,466円でございます。主な事業といたしまして、右の備考欄、議員人件費事業、議会運営事業などの支出でございます。

次に、款 消防費、項 消防費、目 常備消防費といたしまして、支出済額34億920万6,895円でございます。主な事業といたしまして、14ページ、15ページをお開きください。右の備考欄、上から3段目、人件費事業で31億4,598万7,350円の支出でございます。

なお、16ページから41ページにかけましては、各課各署の消防活動等常備消防費各事業の支出でございます。

続きまして、40ページ、41ページをお開き願います。

同じく、目 消防施設費といたしまして、支出済額6億6,716万867円でございます。主な事業といたしまして、右の備考欄、最下段、消防車両購入事業（市場署）、42ページ、43ページをお開き願います。右の備考欄、上から2段目より消防庁舎改修事業（泉佐野署）、消防庁舎改修事業（岬署）、阪南市南西部新庁舎建設事業、日根野出張所移転事業、市場消防署解体事業などの支出でございます。

次に、44ページ、45ページをお開き願います。

同じく、目 災害対策費といたしまして、支出済額185万1,383円は、原子力防災資機材等管理事業の支出でございます。

次に、款 公債費、項 公債費、目 元金といたしまして、支出済額2億2,255万8,916円、同じく、目 利子といたしまして、支出済額783万4,405円でございます。

次に、款 予備費は未執行でございます。

以上で歳出に関する説明を終わらせていただきます。

続きまして、47ページから51ページにかけまして財産に関する調書を添付いたしております。

また、53ページからの泉州南消防組合一般会計事業別予算執行状況には、事業ごとに執行率90%未満かつ100万円を超える不用額が生じたものにつきまして網かけをしております。内容につきましては記載のとおりでございます。

なお、監査委員様より一般会計決算審査意見書が別に提出されておりますので、併せてご参照いただき、ご審議の上、ご認定賜りますようよろしくお願いいたします。

議長（上 甲 誠君）これより質疑に入ります。

質疑ございませんか。

文野議員。

議員（文 野 慎 治君）おはようございます。



まず、大阪北部地震、平成30年7月豪雨の被災者の皆様に心からお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。今回の集中豪雨被災地の広島県土砂災害に対しまして泉州南消防組合から派遣に携わられた隊員の皆様方に、心から感謝を申しあげます。任務を全うされ、無事に帰還されました。まさに我々議員も誇らしく思っております。ご苦労さまでございました。

また、一昨日発生いたしました群馬県防災ヘリコプター墜落事故でお亡くなりになりました吾妻広域消防本部の隊員の皆様方のご冥福を心よりお祈り申しあげるところでございます。

さて、発言の機会をいただきましてありがとうございます。3点について意見というか要望というか、ちょっと考え方をお聞きしたいというふうに思います。

1点目、歳入、9ページでございます。各構成市町の負担金総額が増え続けているわけでもございまして、広域化のメリットというのは住民の皆さんが期待するところは、消防力の向上も重要であります。署所や署員の効率的な配置によって予算が下がることも期待されているというところもございまして。今後、広域化によるメリットとしまして、負担金総額が下がることあるのか、下がるのであれば今後どの時点で下がり始めるのか、そういったところについてお考えをお聞かせいただきたいというふうに思います。

以上です。

議長（上 甲 誠君）中川管理課長。

管理課長（中 川 康君）先ほどの負担金の減額等についてご説明申しあげます。

組合経費につきましては、平成35年度まで概算ではございますがシミュレーションを行っております。広域化後、初期的投資などによって平成29年度までの5年間は増加傾向にありましたが、組合経費の総額は平成29年度をピークに、また構成市町の負担金につきましては今年度、平成30年度をピークに減少すると見込まれており、今後、平成31年度から35年度につきましては負担金の合計は、約38億円から40億円の間で推移するものと見込んでおります。

説明は以上でございます。

議長（上 甲 誠君）文野議員。

議員（文 野 慎 治君）この29年、30年が、2つに分けてお答えいただきましたけれども、ピークで、後は下がる傾向、広域化のメリットが出てくるということでございます。では、よろしくお願ひしたいと思ひます。

2点目、歳出の項目でございますが、44ページ、公債費、これも増加傾向にございます。今後も増える傾向にあるのか、あるいはこれも同じなんです、増え続けるのであればいつがピークとなるか、公債費についてお示しいただきたいと思ひます。

議長（上 甲 誠君）中川管理課長。

管理課長（中 川 康君）公債費につきましては、初期経費から現在組合として計画いたしている事業につきましてはほぼ完了してございまして、平成30年度をピークに一定程度平準化されており、その後、減少する傾向となっております。

説明は以上でございます。

議長（上 甲 誠君）文野議員。

議員（文 野 慎 治君）ありがとうございます。

3点目です。予算の大部分を人件費が占めているということがわかるんですが、今後、広域化、この地域におきましても人口減少が進んでまいります。再任用の方も含めて職員の適正配

置により職員数も絞っていくことが、先ほど現時点、30年がピークということがあったんですが、今後の5年間を見た場合、やはり大部分を人件費が占めるというようなところについても計画を立てていく必要があるというふうに考えております。この点についてお考えをお示しいただけたらと思います。

議長（上 甲 誠君）田中総務課長。

総務課長（田 中 豊 稔君）議員の質問にお答えいたします。

普通人件費につきましては、平成30年度が約30億5,000万円、31年度以降につきましては30億2,000万円から30億4,000万円程度で推移するものと見込まれます。また退職手当につきましても、平成30年度の16名の退職、約3億6,000万円を上回ることなく、平成31年度、32年度、33年度がいずれも7名の定年退職、各年度約1億6,000万円の支出となります。なお、34年度が4名、35年度が7名となりますので、退職手当を含めた人件費総額が、30年度34億2,000万円をピークに31年度から35年度までの平均は31億8,000万円となる見込みでございます。

以上です。

議長（上 甲 誠君）文野議員。

議員（文 野 慎 治君）ありがとうございます。

今、3点について総論的な話をさせていただきました。広域消防本部ができて5年が経過する中で、立ち上がりからそれぞれの各地域の特性、それを広域化したことによって、まずは消防力をアップしていく、救急体制を整備していく、そういったことでこの5年間それぞれ皆さん方が知恵を絞って努力をされてきたことに、まさに敬意を表するわけでございます。

我々、それぞれの地域で議会に戻りますと、平成24年当時消防組合構想が明らかになったときに配られた、平成24年7月30日の広域化協議会が発行したパンフレットがあるんですが、その11ページにこのような表がわかりやすいイラストで書かれておまして、冒頭申しあげましたように、広域化のメリットというのは、やはり経費面においても、そしてまた財政力が弱いところで消防力が、広い地域でございますから格差がある。そういったことも平準化していくというような努力をこの5年間積み重ねていただいたというふうに思っています、現場では。

ただ、それを今後も、先ほどお答えいただきましたように、今は5年の中で先ほど申しあげましたようなプラスとマイナスの部分を何とか平準化していくという中で、それぞれ29年、30年が3項目にわたって言わせていただきましたけれどもピークで、この後は平準化していくんだと。ですから、やはり24年当時議論をされた到達点へ、数字の上でも財政的にもこの組織を維持していくために、それぞれ我々議会も含めて知恵を絞っていく必要があろうかというふうに思っています。

例えば、私どもの熊取町の議会におきましても、議員の質問等の中においても消防組合広域化に参加したことによるメリットという点で質問が5年を経過して出てまいっております。そういったことも踏まえて我々議員も、これは一般の地域の議会でありましたら4年間の任期を全うして勉強を積み重ねていくわけでございますが、議会議員そのものの構成が短期間で変わっていくというようなこともございますので、そういった統一した資料の継続した提供であるとか、そういったことも踏まえて今後ご配慮いただきながら、議会に委託された機能というのはチェック機能だというふうに思っておりますので、しっかり皆さん方の努力に議会としても両輪で支えていくという気持ちは常に持って今後とも研さんをしていきたい、また、我々も次の議員にバトンタッチしていく、そういう覚悟でございますので、ぜひとも、この議会が終わ

りますと新年度の予算編成ということになってくることかと思いますが、そういったことも踏まえて今後ともお互い努力をしていきたいなど、このように思っております。

あとはほとんど要望でございますが、ひとつよろしく願いいたします。ありがとうございました。

議長（上 甲 誠君）答弁をどなたか。

水野管理者。

管理者（水 野 謙 二君）貴重なご意見ありがとうございます。

まず、それぞれに広域化をするに当たりましてのご議論、今改めてお話をお伺いしたところでございます。そういった時のご議論をしっかり踏まえまして、各まちがまずは関西空港がこれだけ活況しているというようなことを踏まえまして、それぞれのまちの成長、また活況もそれぞれに違いが生じておりますけれども、いつ起こるかというよりも必ず来ると言われております南海トラフの大地震、その災害に際しましての備え、そして消防力、それに当たりましての維持、また向上ということを、まずは広域化することによりましてしっかりと形をつくることが大事だというふうに思っております。

それと併せまして、ただいまご議論といいますが、ご意見を頂戴いたしましたけれども、予算面におきましても広域化することにおけるメリットというものをしっかりと、その効果、効率的な運用をもってお示ししたいということで、現在、泉州南消防組合の運営における改革プランを作成しているところでございます。できるだけ早急にまとめ上げまして、またお示しをさせていただきたいと、そのように考えてございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

議長（上 甲 誠君）ほかに質疑ございませんか。

坂上議員。

議員（坂 上 昌 史君）先ほどの文野議員とちょっと関連するんですけども、負担金の総額が増えているということを文野議員は聞いていたと思うんです。30年度をピークに減少していくというような答弁があったかと思えますけれども、どこまで下がるかですよね。要は広域化前より下がるのかどうかと、あとはその目標額とかは設定しているのかということと、その目標額に到達するまで何年ぐらいを目標に期間設定しているのか、あればお答えください。

議長（上 甲 誠君）大西総務部長。

総務部長（大 西 保君）先ほど管理課長の説明で30年度をピークにというお話がございましたが、今、管理者のお話にもありましたように、消防の財政運営の計画プランというところで財政シミュレーションにおいても精査して作成していくこととしております。そんな中、なかなか目標額というものは現時点では設定しておりません。

そして、下がるのかということでございますが、先ほどのご質問にもあったように、組合予算総額につきましては、組合で負担しております公債費、退職手当、そして投資的事業によって年度ごとに少し格差が生じるものということになってございます。

以上です。

議長（上 甲 誠君）坂上議員。

議員（坂 上 昌 史君）わかりました。組織が大きくなって予算が上がっていったところでも気になるところでありますので、どこまで下げるかというような金額の目標は確実に設定していただきたいと思えますし、広域化したメリットで要はコストを下げてくださいということが大きいと思えますので、ぜひ広域化前より下がるというような目標額を設定していただきたいです。

あと、その金額に到達するまでの期間を確実に決めていっていただきたいと思います。

それと、次の質問にいかせていただきます。

私、昨年8月の定例会でもお聞きしたんですけれども、消防力の適正配置と調査で到達時間が悪くなっているところがありますよねという質問をしたんです。そのときに、各署所の移転とかも調査に書かれていたんですけれども、そういったことは実際にやっていくんですかという質問をした。そのときに管理者の方は、可及的速やかに計画をつくっていきますというような答弁やったと思います。それについて、その計画は進んでいっているのか、それともまだ議論が途中ということであれば、その計画はいつ出されるのか、具体的な日にち等をお聞かせいただけたらありがたいんですけども。

議長（上 甲 誠君）水野管理者。

管理者（水 野 謙 二君）ただいまのご意見も踏まえまして、先ほど来からご答弁させていただいていますように、泉州南消防組合の運営に当たりまして、より広域化のメリットをしっかりと確認しながら、なおかつまちの成長をしっかりと支える安全・安心の核となります消防力、そしてまた防災力、そうしたところをしっかりと形をつくっていく、その統合を今探っているところでございます。

そうした中におきまして、予算編成が毎年ございますので、できれば来年度の予算編成に間に合えばしっかりと方針をお出しさせていただきたいと、そのように考えてございます。

管理者（水 野 謙 二君）坂上議員。

議員（坂 上 昌 史君）そしたら、来年の予算のときにその計画は出てくると考えておいてよろしいですか。

議長（上 甲 誠君）水野管理者。

管理者（水 野 謙 二君）そのように努めてまいりたいと思います。

議長（上 甲 誠君）坂上議員。

議員（坂 上 昌 史君）わかりました。ありがとうございます。予算のときにぜひ出していただけたらありがたいです。

私から最後なんですけれども、この議会に入るに当たって私は事務局に要望したんです。人件費の中身がちょっとよくわからないということで、人件費の総額から退職手当がどれだけなのか、また普通人件費がどれだけなのか、再任用の方に対しての人件費はどれだけなのかというような過去5年の数字を並べた資料を別で出していただいたんですけれども、熊取町の決算のときには、決算の附属資料ということで人件費とか公債費といった性質別、また年次別に表にした資料を別につけていただいている、非常にわかりやすいんです。この議会の議員の方は結構入れかわりますので、そういったところをつけていただけたら議会のコスト面での認識というのも統一化されてくるかなと思います。今回の決算ということではないですけども、次の決算からぜひそういうような資料をつけていただきたいなと思うんですけども、その辺はいかがでしょうか。

議長（上 甲 誠君）竹内消防長。

消防長（竹 内 寛 二君）貴重なご意見をいただきました。各構成市町におきましてそれぞれ少しの違いとか、そういうことがございますので、いい部分につきましては参考にさせていただき、なるだけそういう形をとれるように努力していきたいというふうに思います。

議長（上 甲 誠君）ほかに質疑ございませんか。

河部議員。

議員（河部 優君）1点だけちょっとお聞きをしたいんですが、今回、平成29年度決算ということなんですけれども、今後の見通しということでお聞きをしたいんです。

40ページから消防施設費が載っているんですが、その次の43ページから各消防庁舎の改修事業あるいは新設の関係の予算が載っているんです。今後、泉州南消防として、それぞれの庁舎の改修なり建て替えの計画があれば、この際改めてお聞きをしておきたいと思います。

議長（上甲 誠君）大西総務部長。

総務部長（大西 保君）消防組合が設立されましてもう6年目になっておりますが、一定、初期的投資として指令センター、デジタル無線、署所の配備、整備等をさせていただきました。今後につきましては、毎年車両更新による投資的事業が発生すると思いますが、一定、広域化の計画に基づく整備は完了しましたので、大きな庁舎建設等の事業につきましては、今後計画はしていきますが、当面、今後5年間等につきましてははないというふうに考えております。

以上です。

議長（上甲 誠君）河部議員。

議員（河部 優君）私、地元は泉南市なんですが、泉南市の消防庁舎は何年度になるのか。平成30年度と言ってましたか。その辺の見通しだけ教えてください。

議長（上甲 誠君）大西総務部長。

総務部長（大西 保君）泉南署の建設時期につきましては、正確な年限は昭和40年度代であったかなと思うんですが、その後大規模な改修を行っておりまして、現時点で消防組合として泉南署の建築年というのは51年という形で考えて、対応に当たることとなっております。

以上です。

議長（上甲 誠君）51年というのは51年たったら改修するということですか。

大西総務部長。

総務部長（大西 保君）すみません。耐震の改修等を実施されておりますので、そのような考えで進めるということでございます。

議長（上甲 誠君）わかりますか。

河部議員。

議員（河部 優君）耐震をやってから51年後なのか建ててから51年後なのか、ちょっとよくわからんのですけれども、それぞれの行政区で持っている庁舎を改修なり、あるいは新設も含めてこの間やっているわけです。泉南市も当然、耐震化は済んだとは言いつつも、見た目も含めてかなり老朽化してきていますし、その辺もしっかりと泉州南の中でやっていただかないと、これは独自の場合であれば当然、市とのやりとりになるわけですが、この際、我々もしっかりとそういった要望も含めて出しておかないと、いつになったらそれがされるのかなということも含めてありますので、ぜひ来年度以降の計画の中ではしっかり位置づけてやっていただきたいというふうに思います。

議長（上甲 誠君）大西総務部長。

総務部長（大西 保君）1点、28年度に実施しました泉州南の消防力の適正化の配置でも調査結果等が出ておりまして、今後の庁舎建設事業につきましては、該当は泉南署が第一という形で計画することになる予定となっております。

以上です。

議長（上 甲 誠君）ほかに質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（上 甲 誠君）質疑ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（上 甲 誠君）ないようですので、これをもって討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

認定第1号 平成29年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出の認定について、決算の認定を可とすることに賛成の方は挙手願います。

（挙 手 全 員）

議長（上 甲 誠君）挙手全員であります。

よって、認定第1号 平成29年度泉州南消防組合一般会計歳入歳出決算については、認定を可とすることに決定いたしました。

---

議長（上 甲 誠君）ただいまをもって平成30年泉州南消防組合議会第2回定例会を閉会いたします。

どうもご苦労さまでございました。

閉会（午前10時35分）

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 上 甲 誠

1 番 議 員 道 工 晴 久

3 番 議 員 大 庭 聖 一